



## 悠久の時を超え、仏の里の橋めぐり



## DATA・BOARD 27



- ① 大分県西国東郡大田村大字沓掛ほか7地区
- ④ 白髭橋は lantern とパネルを設け親柱には石の仁王像を設置、他の7橋は御影石・モザイクタイル・擬木などを使用
- ⑤ コスモス祭り、どぶろく祭りなど

橋や道路は、通行という機能性に加え、豊かさや潤いのある施設としての姿が見直されるようになってきた。

国東半島で仏の里として知られる大田村では、仏の里にふさわしい周辺景観と調和するように、それぞれ橋の親柱、高欄に仁王像や石時計、地産の特産物、桜歌碑など村や地域の特徴を盛り込んだデザインを施し、多くの人々に親しまれるように橋の整備を行った。

整備が行われた八つの橋は、白髭橋・畑中橋・当ノ木橋・木ノ下橋・角石橋・中州橋・中野大橋・昭南橋で、トータル的に地域の特徴を生かしながら、村の古き良き文化と未来を橋にイメージすることで、道しるべとなるような性格も持たせ、アイストップとなるように橋の空間美も高められている。